

No.34 2001年(平成13年) 3月25日



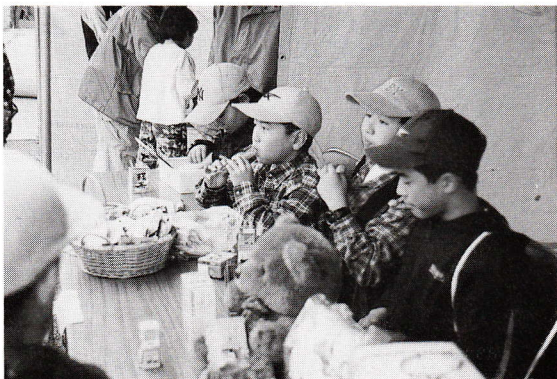
すたかか

荻田町青少年育成町民会議だより



(こどものつどい時に)

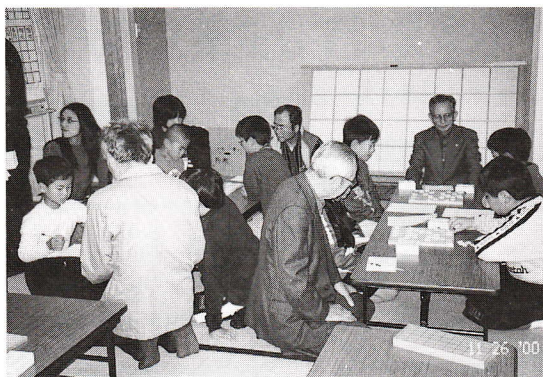
心豊かで
たくましい 青少年の育成を目指しましょう



こどものつどい

将棋大会と掲示

平成12年11月26日(日)
中央公民館第7研修室とロビー
町民会議主催



本将棋高学年の部

一位 与原小6年 坪根 史敏
二位 荻田小6年 佐藤 将臣
三位 荻田小6年 霍田 尚典
本将棋低学年の部

一位 与原小4年 塩塚ゆうや
二位 三毛門小3年 宮崎 一晟
三位 片島小4年 西本 大悟
はさみ将棋

一位 南原小3年 花岡 和樹
二位 南原小1年 花岡 茉耶
三位 三毛門小1年 宮崎 由羽
この内、一つの部では上位三名
がじゃんけん順位を決めた程の
白熱した展開がありました。



伝承工作・人形づくり

平成13年3月18日(日)
総合福祉会館(尾倉)
健全育成部会主催

町民会議では、製作の喜びと
指導者・親子・友だちとのふれ
あいを深めるため、11年度から
復活しています。
竹トンボ・竹ボックリ・水鉄
砲・(竹馬は完成品)・わらぞ
うり・お年玉・あや取り等の伝
承工作もの。

熊ちゃん人形や小物飾り物、
バルーン等の現代的なもの
それらの製作したものを使っ
ての遊びも一興でした。
○初めて参加。少し手伝っても
らった。自分なりに良くでき
たと思う。
○昨年に続いて参加。前のより
良くできたと思う。
○学校でもつくり、遊びました。
自信を持ってつくった。楽し
かった。
○子供と一緒につくりました。
今度は家でも一緒につくって
みるつもりです。

21世紀は君が主役だ!

健全育成を目指しての体験活動

ふれあいマラソン大会

平成13年2月4日(日)
パンジープラザ、スタート・ゴール
町民会議後援・監視

3・5・7kmに分かれ、時お
りの小雨・寒風の中にもめげず
に各自の体力に合わせて頑張っ
ていました。

特に、小学生・中学生の皆さ
んが進んで参加し、体力づくり
に心がけているのはたのしい
限りです。走・投・跳が運動の
三要素と言われています。これ
からも挑戦しましょう。



田植えに続いて

町育成会連合会と
町ロータリークラブ共催

◎稲刈り

平成12年10月22日(日)
丸谷寿代さん所有地

◎もちつき大会

平成12年11月26日(日)
中央公民館玄関前にて、こど
ものつどい時に。

一連の農作業に参加した皆さ
ん。感想は?

スケート研修会

平成13年1月27・28日(土・日)
玄海青年の家
町育成会連合会

冬のスポーツの花形はスキー
とスケート。
西南日本のこの地方でも、子
どもの頃から滑りをおぼえてい
ても。

こんな思いで、町育成会所属
のメンバー中68名が挑戦。
初めは恐る恐る。徐々に度胸
がついてきて少しずつ前進。と
思いながらもすってんころり。
でも、何回かの繰り返しの中か
ら滑れるようになる。子どもの
おぼえは早かった。



家庭シンポジウム

平成12年11月23日(木)
三原文化会館一階大ホール
家庭部会主催

パネラー (敬称略)

○荇田小6年 大田 彩

「すすめようノリサイクル!!」

○馬場小6年 金丸 奈央

「殿川にメダカを放流したい」

○白川小6年 照本 旭生

「地域の行事で思うこと」

○荇田中3年 新井 優斗

「僕が思う地域活動」

○新津中2年 田中 優貴

「親と子、恥の文化は」

○荇田工高2年 中田 智幸

「ボランティア活動を通して」

○新津中PTA 武内 和之

「学校とPTAの連携」

○片島小PTA 中園恵美子

「親と子の願うもの」

「スポーツを通じて」

○助言者 京築教育事務所

主任社会主事 刀根 伸

※事前に、

オアシス運動、家庭の日(書道・絵・作文・標語)と健全育成ポスター両方の表彰式
入賞者百四十一名中百四名の出席。



(表彰式のようす)

地域の活動に参加して
地域の活動での思い

子どもたちの声

今、地域ぐるみで子どもを
育てる見直しがさげられてい
ます。そこで、以下の事は。



○小学生からも、ゴミ、汚物、
公害等の実態が指摘される。

○めだかが放流できる川や廃品
回収のリサイクル推進の提言
がなされる。

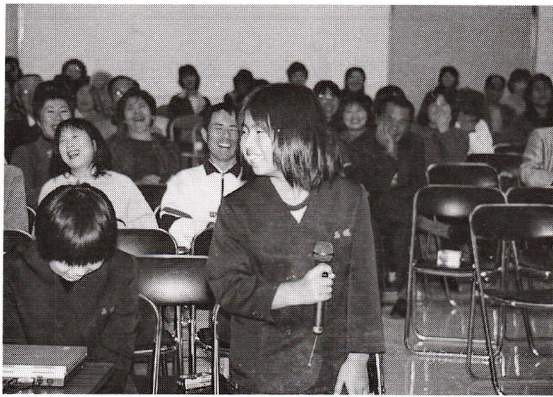
○ボランティアやインターアク
ト等の活動が小学生・高校
生、PTA、婦人会、育成会
等の団体による活動として広
がりつつある報告がなされ
る。

○小学生の声が地域の大人たち
に。そして、行政を動かした
実例が報告される。

○家族や大人社会の中には、日
本古来からの「恥の文化」が
失われつつあるという指摘が
あった。自己主張・表現の仕
方に子どもも含めて日本文化
に一石が投じられた。

○地域の活動において、子ども
たち自身でできることは何
か、そこから始めようとする
動きが見られる。今までの大
人たちの指導による受け身の
活動から、子どもたち自らが
地域を見つめ、地域を大事に
思い、将来に備えようとする
願いが感じられる。

○一方、大人側からも、子ども
たちの考えを大切にしながら、
地域、学校、家庭、そし
て子どもが一体となったの活
動報告がなされる。新たな地
域社会づくりが見られる。



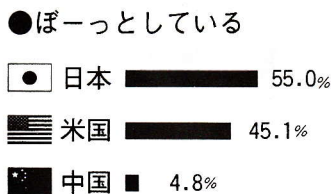
※11月は各地、各所での行事が
多い中、PTA、婦人会、教
育関係者等々二百名を超える
方々が参加され、活発な意見
交換がなされました。



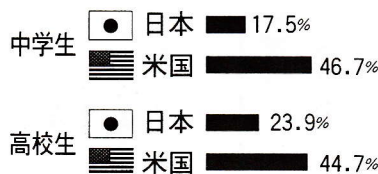
外国との比較

(1998・1999年(財)日本青少年研究所調査)

○休日になっていること(中学生)



○将来の目標をはっきり決めている



○家の手伝いを良くする(中学生)



今、県民会議では会長(県知事)を中心に、青少年アンビシャス運動を展開しています。
「豊かな心・幅広い視野・それぞれの志を持ったたくましい青少年」の育成を目指していま

(県民会議発行・若いなかま No.149号より抜粋)

京築地区の青少年問題の実状

問 題 行 動	内 容	年度	小学校		中学校				
	いじめ	H. 9 H.11	21 1	15 2					
	不登校	H. 9 H.11	8 25	73 127					
	暴力行為	H. 9 H.11	0 10	12 12					
割合％（H.11）	不登校態様別	態 別		学 校		学 校		学 校	
		学校生活	遊び非行	無気力	情緒混乱	意図的	複 合	その他	
	小学校	8	0	8	28	0	36	20	
	中学校	8	12	22	22	4	25	7	

(平成11年度の相談状況)

京築教育事務所児童相談室)

1. 相談件数：638件（電話71%
来所16% 訪問13%）
2. 相談者：保護者、高校生、未成年者、
小中学生の順
3. 相談内容：不登校、進路、性に関する件、
身体の順
(夜間)：友人関係、先生、不登校、
進路の順

カー揭示宅も)
○学校からの通信
で、重要内容と思える課題について家庭で話し合っているのが40%に止まっている。
中でも、不審者、痴漢対策を含めた性教育の取り組みは、学校だけでなく家庭でも。

町民会議では、少年補導員他の補導環境部会と各小中学校の生徒指導主事他の生徒指導研修部会との合同研修会を開いています。
今年度は各学校の管理職にも出席していただき、青少年の諸

平成12年12月12日(火) 18時
三原文化会館一階大ホール



問題について意見交換しました。
一、映画(少年犯罪と親の責任)
一、京築教育事務所指導主事、
神原修一先生より「京築地区の青少年問題の実状」の報告
(左記表参照)



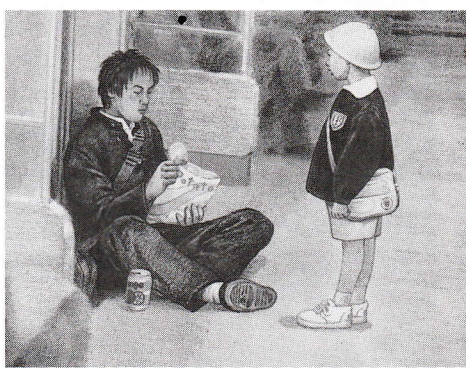
地域の方々へ

- 一、報告を受けて、「地域・学校・家庭での協同取り組みについて」の意見交換
- 学校からの家庭訪問は、全てが良くない事とは限らない。近所の人たちは即疑われないでほしい。
 - 良い事はほめ、良くない事はしかる。その様な近所の人であってほしい。
 - 不審者があらゆる場所に出現している。(登下校道、公園から住宅地にも)自分の地域に気を配ってほしい。
 - 何かの時には、自分の地域、氏名を言って一〇番を。

もっと子どもに関心を持とう

京都郡社会教育委員会・青少年健全育成部会協議会
13年1月30日、三原文化会館 傍聴して(すこやか事務局)

- 駅前や公民館、コンビニ等でたむろし、飲食、騒ぎ、他の人に不快感を与えている。
- 住宅地内でも深夜公然と大きなバイク音をひびかせている。
- スポーツをしたがらない、本を読まない子が増えている。
- あいさつ等声かけをしても高学年になる程返事、対応がない。
- 一人ではよい子なのに、集団になると群衆心理が働いて態度が急変している子を見かける。
- 文化・体育面とも指導者不足である。地域の人材で教育的配慮のある方がいる。登録制などで学校や地域活動等に役立ってほしい。
- 幼い頃から、耐性や礼儀作法がしつけられていない。逆に、しつけと児童虐待とが表裏一体となっている場合がある。「大人が変われば子どもも変わる」のとおり、まず保護者の考えや態度を改めるべきで、「子は親の背を見て育つ」を忘れないように。



どうして
すわって
いるの?

(県民会議
資料より)

- 大人が子どもにもっと関心を持って欲しい。子どもに近づいて行くべきで、子も期待している場合が多い。
- 保護者が文化・体育面を一緒に行ったかどうか。そうすると保護者同士、保護者らと子ら、子ども間のコミュニケーションが深まり、まわりの子まで指導、教育ができる。
- 来年度から学校週5日制完全実施になる。その内、学校関係では土曜日から日曜日のいずれかが休養日になるので、一層保護者の家庭や地域での役割が重要になる。

ふれあい

インタビュー

15

苅田工業高等学校Ⅱ 文化系クラブ

前号では同校体育系学部の活躍を紹介しました。今回は文化系クラブです。

○新聞部

部長：原 和也

現在、年一回しか新聞発行ができませんが、発行回数を増やす努力をしています。

○写真部

部長：菅野暢彦

福岡県高等学校芸術文化連盟に所属し、主に白黒写真の撮影・現像・焼き付けなど全ての作業を自分たちで行っています。12年度高文連夏季撮影会で優秀賞受賞。その他コンクール参加、写真展へ出展等を行っています。

○機械工作部

部長：薄田一高

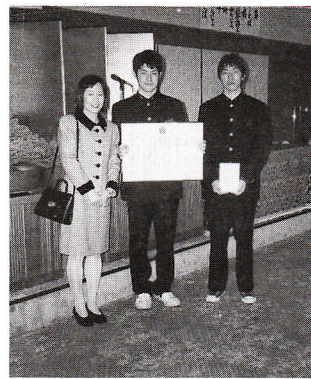
一人乗りのゴーカーを製

作しています。授業では習わない機械を使いながら、毎日楽しく活動しています。



文部大臣賞 県教育文化表彰 受賞

食生活改善研究・啓発活動を通して、地域や県文化に寄与
同校の有志グループ



○無線部

部長：上田正順

2000 柳川ソーラーボー

ト大会学生の部に出場して、49艇中13位。現在までに5年連続大会出場しています。

○放送音楽部

部長：後田麻衣

今迄、FM77・4MHzで毎週土曜日にFM放送をしていました。今後は、アナウンスコンテストに出場したり、苅田のホームページ作りに携わっていくつもりです。

○部落解放研究会

部落差別をはじめとするいろいろな差別問題や人権問題について日頃から話し合っています。京行地区や県全体の部落研の交流会などに参加しています。

○インターアクト部

部長：中田智幸

JR苅田駅・白石の浜等の清掃活動、24時間TV・チャリティ餅つき等の募金活動、韓国との国際交流・他校との交流を行っています。

今回は、韓国の学生が3泊4日のホームステイで研修に訪れます。

※12年度家庭シンポジウム時には、代表が取り組みを発表しました。

○物理部

部長：本田 光

第2回福岡県工業高校ロボット競技大会に出場し、Aチーム「つりの助」が優勝、Bチーム「デコボン」が準優勝という好成績を収めました。両チーム共徳島県での全国大会に出場しました。



○将棋同好会

部長：田中将太

週3回放課後に2～3時間程度、部員同士での対局をする活動をしています。

※生徒会長、村上弘賢君談

新会長となり、少し不安ですが、旧生徒会役員や一年生も積極的に生徒会活動に参加してくれ、予想していたよりも仕事が苦になりません。

21世紀初めの苅田生の活躍に貢献していきます。

※文化系部、橋本典和先生談

伝統的な部から工業高校特有の物づくりを中心として創造的な部まで様々で、生徒達は目標に向かって、校内はもとより校外でも盛んに日々活動が続いています。



すこやか

Q

&

A

Q

前号で、「大人が変われば子どもも変わる」を読みました。今、青少年の諸問題が加害・被害共に深刻化しています。それだけに大人（保護者）たちが我が子や地域の子に関心を深めて接していかなばと思います。そこで、大人たちが子どもに対しての役割などを具体的に教えて下さい。

あなたはどれだけ「親」の役割を果たしていますか？

15の質問に正直にお答えください。「YES」の数であなたの「保護者」度を診断します。ゲーム感覚で楽しんでください。

Q1 学校（保育所）からのプリント（配布物）を見えていますか。
YES NO

Q2 連絡帳などに目を通してサインするなどしていますか。
YES NO

Q3 子どもの本読みを聞いてあげていますか。
YES NO

Q4 学校で一日のようすを子どもと話をしていますか。
YES NO

Q5 親（家）の都合で勉強時間、寝る時間などの生活リズムを乱さないようにしていますか。
YES NO

Q6 子どもが勉強しているとき、テレビを消していますか。（音を小さくしていますか。）
YES NO

Q7 朝食をきちんと食べさせていますか。
YES NO

Q8 だらだらとテレビを見せないようにしていますか。（テレビゲームも含む）
YES NO

Q9 兄弟やいとこの比較をしないように努めていますか。
YES NO

Q10 子どもにお手伝い（家事労働）を分担させ、家族の一員としての意識を持たせるようにしていますか。
YES NO

Q11 まずはあいさつから。親から「おはよう」などのこえかけをしていますか。
YES NO

Q12 子どもに絶対ウソはつかない。約束は守るようにしていますか。
YES NO

Q13 親自身が自分をふりかえり、「高まる」「学ぼう」という気持ちを持っていますか。
YES NO

Q14 夫婦で、子どものことや子育てについて積極的に話していますか。
YES NO

Q15 子どもの前で、（夫婦の）相手をけなさないようにしていますか。
YES NO

子どもの健全育成の出発点は家庭ですね。そこで今回は、保護者の役割についての資料を

右の資料は、平成12年度勝山町の町民会議と学力向上推進・

15点へ向けて大人のあなたがまず変わらしましょう。

より紹介しています。

いじめ対策委員会が合同で作成している中の一部です。

0～3点

今のままでは、子どもはあなたを親とは決して呼びません。もっと子育てを真剣に考え、かかわってください。子どもの未来を保障するのはあなたしかいません。

4～7点

子どもが親と呼ぶには、まだまだです。もっと子育てに目を向けて…。親子で遊んだり、会話を楽しんだりして、コミュニケーションの充実を図りましょう。

8～11点

子どもから親と呼ばれる資格があります。我が子の可能性や個性を伸ばすには、もっと子育てについて勉強が必要です。がんばりましょう。子どもの可能性は無限です。

12～15点

あなたの子どもはすくすくと育っています。あなたを親と呼んでくれることでしょう。しかし、過度の期待は子どもをだめにする危険性がありますから注意を。

「よい話かんⅢ」

6

子ども①・②

「すみません。」「ミ袋ください。」

役場の人「どうしたの？」

子ども①・②

「今、追い越していった車の中から、たくさんタバコのすいがらが捨てられました。拾おうと思って。」

役場の人

「感心だね。大人が捨てて子どもが拾う21世紀か。うーん。」

子ども③・④・⑤

「先生、ゴミ袋ない。帰り道に空きかんや食べかすがいっぱい捨てられています。」

先生

「よく気がついたね。私が捨てたのではないからといって、拾おうとしない人が多いの、ねえ。よし！一緒に行こう。」

子ども⑥・⑦・⑧

「おばさん、古新聞ないですか。」

おばさん

「ああ、廃品回収ね。」「苦労さん。」

子ども⑥・⑦・⑧

「学校では、総合学習の中で環境や福祉を勉強しています。地域の育成会も行っています。車いすを望んでいます。」

編集・発行

荏田町青少年育成町民会議

すこやか編集委員会

☎434・1111内線390